

防災士目指し熱心に

八学大養成講座スタート

八戸

八戸学院大学(八戸市)の八戸学院地域連携研究センターが本年度新たに開講した「防災士養成講座」の第1回講座がこのほど2日間、同大で行われた。同大の学生や一般市民らが受講し、防災士資格の取得に向け知識と技術を身に付けた。

防災士は特定非営利活動法人・日本防災士機構が認定している民間資格。地域の防災意識や防災力向上に努め、有事の際には住民の避難誘導や救助に当たる。

同センターの講座は防災士の役割や災害時対応、危



機管理など計12コマ。防災の専門家や気象予報士らが

講師を務め、受講者は全コマ終了後に防災士の資格試験を受験できる。
初日は、同大の学生4人を含む37人が受講。防災士が災害時に学校や職場で活躍した事例や

本県の防災組織の現状、津波や土砂災害の仕組みや被害などについて学んだ。自身も防災士の資格を持

防災士の資格取得を目指し、講義に耳を傾ける受講者たち

ち、本年度、同センターに「BOSAI推進室」を発足させた井上丹・客員准教授は「東日本大震災以降、全国的に防災意識が高まっているが、本県は低い水準

にとどまっている。学生をはじめ多くの人に防災士を目指してほしいと話した。同センターは9月上旬に次の講座を予定している。(工藤俊介)